

「あ！火災だ」適切な通報と初期消火

岐阜県 中濃消防組合消防本部

平成15年10月29日(水)に、第19回合同初期消火技術競技大会が行われました。

この大会は、中濃地区少年女性防火委員会、武儀地区危険物安全協会、中濃地区防火協会及び中濃地区の各市町村女性防火クラブが合同で開催し、粉末消火器消火競技・屋内消火栓注水競技に各協会事業所従業員及び女性防火クラブ員が、火災に備え適切な通報・初期消火技術等を競いあうとともに、より一層消火技術等の向上を図りました。

競技終了後には、女性防火クラブ員が水バケツ注水訓練を行い日頃の訓練の成果を披露し閉会しました。



またこの大会は、火災が発生しやすいシーズンを迎えるにあたり、より一層の火災予防思想の普及・向上にも一役かっています。

[▲ このページの上に戻る](#)

新築老人介護施設で消防訓練

大阪府 泉佐野市消防本部

泉佐野市消防本部では、11月24日(月)10時から、秋の全国火災予防運動の一環として、今年10月に新設された特別養護老人ホーム・アムリタにて、同施設の自衛消防隊及び地元消防団である長滝分団と合同で特別消防訓練を実施しました。

この訓練は、全国的に老人介護施設が増加しており、このような

施設で火災が発生した場合、多数の人命危険が予想されることから実施するもので、建物4階の厨房室から出火したとの想定で訓練は開始され、同施設の自衛消防隊が119番通報、初期消火及び入所者の避難誘導訓練を行い、消防署、消防団からは、梯子車など消防車両6台消防隊員24人が出動し、自衛消防隊と連携を図りながら、消火活動及び逃げ遅れた入所者を梯子車などでの救助、救出訓練を行いました。



また、訓練の最後には、消防車両による一斉放水訓練を実施しました。

訓練終了後、当該施設の職員に、消火器の取扱い訓練を実施するとともに、長滝分団及び南中分団の消防団員は松本施設長の案内で施設内の消防用設備の視察を行いました。

今回の訓練で松本施設長は「この施設で消防訓練を実施し、改めて火災の恐ろしさを感じました。また、介護を必要とする高齢者が入所する施設の責任者として、尊い人命を守るためにも絶対に火災を発生させてはいけません。」と決意を新たにしていました。



[▲ このページの上に戻る](#)

防災研修会の開催について

大阪府 豊中市消防本部

平成15年10月29日(水)豊中市消防本部では、豊中防火安全協会と協力して、市内事業所の自衛消防隊員の一翼を担う社員を対象とした防災研修会を原田消防訓練場で開催しました。

この研修会は、春・秋の年2回実施しており、春は新入社員を、また、秋には一般の社員を主な対象としています。

今回の研修では、29事業所59名（内訳男性55名・女性4名）の参加者がおり、訓練を実施しました。

午前中は、普通救命講習を行い、午後からは参加者を5班に分け、水消火器による消火訓練、屋内消火栓による放水訓練、煙中体験、自動火災報知設備の取扱訓練・スプリンクラー設備の展示、119番通報訓練・地震体験の6種目をそれぞれ30分間実施しました。





煙中体験では、煙発生器で煙を発生させ、煙道の中を通り抜けるもので、1回目は素面で、2回目は透明のビニール袋に空気をためて頭からかぶって中に入り、その違いを知ってもらいました。また、消火器や屋内消火栓の取扱訓練では、実際に使用できるよう熱心に指導者の話しに耳を傾けて訓練に取り組んでいました。

近年、火災件数は減少傾向にありますが、放火（放火の疑いを含む）火災件数が総火災件数に占める割合が増え、自衛消防の重要性が再認識されてきており、この様な研修会において実際に消防設備の使用方法や、煙の怖さを体験してもらうことができました。



[▲ このページの上に戻る](#)

半田市立さくら小学校少年消防クラブ結成式

愛知県 知多中部広域事務組合消防本部

知多中部広域事務組合消防本部は、愛知県知多半島のほぼ中央に位置する半田市、阿久比町、武豊町、東浦町の1市3町を管轄する消防本部です。



消防本部では、平成15年4月1日に開校された半田市立さくら小学校で、平成15年11月5日(水)、管内28校目の少年消防クラブ結成式を開催しました。

平成元年の半田市立横川小学校少年消防クラブ結成以来、15年ぶりの結成式であり、少年消防クラブの自主的、実践活動を通して少年期から火災予防の知識と技術を培うとともに、防犯の意識を高め、将来、火災や犯罪の無い安全で快適な地域づくりと責任感のある社会人に成長してもらうことを目的として、5・6年生の児童、168名を対象に結成式を行いました。

来賓者にあつては、半田市教育委員会関係者、PTA会長、参加者は、全校児童(497名)、学校職員、知多中部消防音楽隊(30名)及び消防職員が出席しました。

なお、式典終了後、アトラクションとして知多中部消防音楽隊の記念演奏及び消防職員のあらゆる服装を披露しました。



[▲ このページの上に戻る](#)

「みんなの消防フェスタ2003」を開催

愛媛県 松山市消防局

市民の防火・防災意識を高めてもらう「みんなの消防フェスタ2003」が10月18日(土)市内の松山市総合コミュニティセンターにおいて約5,400人が参加して開催されました。

平成4年から毎年開かれていた「母と子の防火大会」を昨年から衣替え、幅広く市民に密着した防火・防災をPRすることを目的に行われました。

屋内会場では、優良消防クラブの表彰、少年消防クラブ員の研究発表、地元プロ歌手による防火コンサート、防火ポスターの展示、スタンプラリー等が行われ大変好評でありました。



また、屋外においては、親子連れでにぎわい、消防車の試乗や消火体験など普段では味わうことのない体験に感動し、消防に対する興味を深めた様子でした。

消防フェスタに参加した幼年・少年消防・女性防火クラブ員はもちろん、多くの市民に防火・防災意識の高揚と地域のふれあいに努めることができました。



[▲ このページの上に戻る](#)

婦人防火クラブ防火研修会

京都府 福知山市消防本部

福知山市少年婦人防火委員会では、11月1日(土)9時30分から福知山市民会館において、財団法人日本防火協会と福知山市防火協会の共催のもとに婦人防火クラブ員375名が参加して防火講演会を開催しました。

この講演会は、防火防災思想の普及と、災害時において行動力のある婦人クラブ員の育成を図ることを目的に毎年開催しており30回目となりました。



今年は京都市消防局西京消防署長・小川消防監を講師に迎え、災害現場の貴重な体験談から「命の大切さ」と題して御講演いただきました。

最後に多くの質問も出るなどして、悲惨な災害現場のお話から命の尊さについて研修され、今後さらに家庭を拠点とした地域ぐるみの防火防災の輪を広げていくよう全員で再確認され終了しました。

[▲ このページの上に戻る](#)

防災フェアを開催

熊本県 天草広域連合消防本部

中央消防署では、11月7日(金)サンリブ本渡店において「屋上駐車場で車両火災が発生、数人の逃げ遅れあり」との想定で防災フェアを開催しました。

店内ではトラと犬の着ぐるみを着た職員による防火チラシの配布を行い、小さい子が怖がって泣き出す一幕もありました。

屋上においては濃煙体験コーナーを実施、体験者から

は「簡単に思っていたが、前が、まったく見えず恐怖を感じた。絶対に火事を出さないように火の用心します」といった声が聞かれました。

最後に東向寺保育園幼年消防クラブ員31人によるはしご乗りの演技を披露し、全員で「火あそびしません」と火災予防を訴えました。

▲ [このページの上に戻る](#)



第15回幼年消防フェスティバル

宮崎県 延岡市消防本部

延岡市の各幼年消防クラブが一堂に会し、防火防災意識の高揚と防火思想の普及拡大を図ることを目的として、「第15回幼年消防フェスティバル」が11月8日(土)13時より、延岡市の野口記念館において開催されました。

「火の用心」の文字が入った法被姿の園児達による合唱のオープニング後、遠田功三消防長が「自分たちの街から絶対火を出さないよう、みんなで注意することが大切です。みんなも火遊びをしないことを約束しましょうね」と挨拶しました。





それを受けて、各幼年消防クラブの園児達が「私たちは絶対に火遊びはしません」と声を合わせて防火の誓いを読み上げました。

アトラクションでは、各保育所・園が出し物を発表し、和太鼓、ダンス、鼓笛隊、組体操を元気に披露しました。

フィナーレでは「火の用心のうた」の合唱が行われ、各幼年消防クラブが相互の連携を深め、発表の場を通して広く市民に火災予防を呼びかけられたイベントとなりました。



伊万里市防災フェア2003

佐賀県 伊万里市消防本部

伊万里市防災フェア2003が、10月19日(日)伊万里市市民センターにおいて開催されました。



広場ではちびっこ救助隊コーナーや濃煙体験コーナー、テント内では応急手当指導コーナーなどが設けられ、親子が共に楽しみながら防災に触れていました。

また、少年消防クラブ対抗の消火リレーも行われ、熱い声援の中、防災フェアの着ぐるみマスコットも参加し、大いに盛り上がりを見せました。

今年の防災フェアのテーマが、「楽しく学んで 広げよう 防災の輪」ということもあり、防災落語で有名な三遊亭享楽師匠の防災落語や、爆笑救急救命講習、幼年消防クラブによる見事な演技、そして心温まる女性消防団の寸劇など、楽しく防災を学べるイベントが数多く実施されました。

